

会 議 録

会議の名称	令和7年度第1向日向市地域公共交通会議
開催日時	令和7年6月3日（火） 14時00分から15時25分まで
開催場所	日向市役所 健康管理センター 2階 多目的ホール
出席者	別紙一覧
議 題	令和6年度市民バスの運行状況について 日向市公共交通会議設置要綱及び日向市運賃協議会設置要綱の改正について AI オンデマンド交通導入の進捗状況について 東郷地域における新交通体系の検討について 日向市地域公共交通計画の中間見直し作業について 令和6年度事業報告及び決算について 令和7年度事業計画（案）及び予算（案）について 令和8年度地域内フィーダー系統確保維持事業に係る地域公共交通計画別紙の認定申請について
会議資料の名称 及び内容	会次第 【資料1】市民バス概要 【資料2】交通会議・運賃協議会設置要綱の改正について 【資料3】AI オンデマンド交通導入の進捗状況について 【資料4】東郷地域における新交通体系の検討について 【資料5】日向市地域公共交通計画の中間見直し作業について 【資料6】R6事業報告・決算・予算等について 【資料7】地域公共交通計画 別紙
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	
1 開会 2 委員・事務局員紹介 3 報告事項 ■令和6年度市民バスの運行状況について 事務局より配布資料に沿って説明。	

■日向市公共交通会議設置要綱及び日向市運賃協議会設置要綱の改正について
事務局より配布資料に沿って説明。

■AI オンデマンド交通導入の進捗状況について
事務局より配付資料に沿って説明。

■東郷地域における新交通体系の検討について
事務局より配付資料に沿って説明。

〈委員からの意見〉

○委員

高齢者、特に年金生活の方が利用する際に、バスの料金が上がると利用しづらくなると思う。料金についてはどのように考えているのか。

○事務局

現在の乗合バスとうごうは一律 200 円だが、燃油高騰など物価高の背景もあるため、検討することになる。まずは、地域の互助輸送等の可能性も含めて、現行のバスよりも便利な交通があるのか検討していきたい。

○委員

新しい交通になることで値上げが行われると、利用者が少なくなり、事業の意味がなくなると思う。住民が安心して利用できるような交通を考えてほしい。

○事務局

今回の調査事業において地域住民アンケートや利用者アンケート、座談会も実施する予定であるので、地域にあった交通体系を検討していきたい。来年度からいきなりシステムを入れて変えていく、ということではないので、まずは方針について検討していくということで、今後も交通会議の中で随時報告させていただく。

○委員

東郷地域における新交通体系について、どのような運行を考えているか。ライドシェアといった方向性があるのか、全くのゼロベースで考えていくのか。

○事務局

現行の乗合バスとうごうは、時間と日にちが決まっている予約型のバスであるが、昨年視察したところでは、日向市同様マイカー利用の方が多いため、お買い物のついでに同じ地域の人を乗せてあげるといった行為をシステム化して料金を払うという、いわゆるライドシェアという方法であったが、そういったやり方も含めて検討する。ただし、少ない対価でドライバーを引き受けてくれる人がいるかどうか、を含めて検討していくため、基本的にはゼロベースで考えていく。アンケートや座談会等で地域の実情を分析し、地域にあった交通体系を検討していきたい。

○委員

東郷地域での新交通体系の協議の場にはタクシー協会も入れてほしい。互助輸送の話があったが、いわゆる無償輸送について、解釈によっては違反になることも考えられる。元々道路運送法の中に無償の旅客運送について記載があったが、この記載が消えたのは、無料の運送はないという整理で消えていった経緯がある。今後の動向については、互助輸送になったとしても、この交通会議の場で情報を提供してほしい。

○事務局

事前には相談させていただいているところではあるが、そういったことも含めて、適正な形での運行を考えていきたい。

■日向市地域公共交通計画の中間見直し作業について

事務局より配付資料に沿って説明。

4 協議事項

■令和6年度事業報告及び決算について

事務局より資料に沿って説明。

→原案のとおり承認

■令和7年度事業計画（案）及び予算（案）について

事務局より資料に沿って説明。

→原案のとおり承認

〈委員からの意見〉

○委員

今年度から歳入に補助金が入ることだが、これはどういった補助金になるのか。

○事務局

地域公共交通確保維持事業による補助金であり、市民バスの欠損額に対する補助金として毎年申請しているものである。これまでは、国から市へ直接補助金が入っていたが、日向市地域公共交通会議が事業の申請者になっていることから、令和7事業年度の補助金から交通会議に入ることとなった。このため、歳入に新たに計上している。交通会議に入った後は、全額を市の歳入に充当する予定であるため、歳出にも同額を計上している。

■令和8年度地域内フィーダー系統確保維持事業に係る地域公共交通計画別紙の認定申請について

事務局より資料に沿って説明。

→原案のとおり承認

〈委員からの意見〉

○委員

日向坂46のイベントに合わせて日向市駅を「日向坂46駅」として装飾した事業について、予算はJRが持ったのか、市が持ったのか。

○事務局

基本は JR 九州が費用を持ち、一部について日向市が観光協会をとおして補助をした。

○委員

全国版のテレビなどにも出て、かなり日向市を PR していただいたので良かった。

5 その他

○委員

公共交通機関の利用者については、各地で減少傾向にあるため、乗換えがしやすい体制を整えていく必要があると考えている。鉄道の春のダイヤ改正を行うにあたり、事前にバス事業者へダイヤの情報を提供することで、各地域のバスと鉄道の接続が良くなるよう、バスのダイヤ改正について検討をお願いしたい。

○事務局

交通計画等においても、他の交通モードとの乗り継ぎ連携強化を謳っているため、運行事業者とも協議の上、可能であれば前向きに検討したい。ただし、南部ぶらっとバスは、JR の路線と若干平行する路線となるため、乗換え需要があるかどうかを含めて考えていきたい。

6 閉会